

京田辺市平成26年度予算特集

平成26年度当初予算 会計別歳出内訳

区分	平成26年度	平成25年度	増減額	増減率(%)	
一般会計	239億円	233億円	6億円	2.6	
特別会計	132億2980万円	128億2010万円	4億970万円	3.2	
内訳	休日応急診療所特別会計	2270万円	2250万円	20万円	0.9
	松井財産区特別会計	1190万円	2810万円	△1620万円	△57.7
	国民健康保険特別会計	67億5460万円	64億6070万円	2億9390万円	4.5
	介護保険特別会計	36億5780万円	34億2130万円	2億3650万円	6.9
	後期高齢者医療特別会計	6億6930万円	6億2020万円	4910万円	7.9
	公共下水道事業特別会計	20億1890万円	22億150万円	△1億8260万円	△8.3
	農業集落排水事業特別会計	9460万円	6580万円	2880万円	43.8
水道事業会計	26億2430万円	26億1150万円	1280万円	0.5	
合計	397億5410万円	387億3160万円	10億2250万円	2.6	

平成26年度一般会計予算

5つのチャレンジプラン総仕上げへ 8つの重点項目を推進

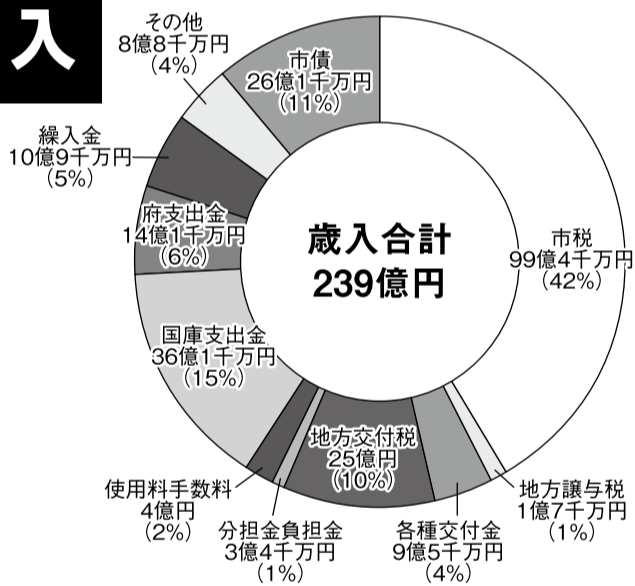
平成26年度の一般会計予算額は239億円（対前年度比2.6%増）となり、3年連続で過去最高を更新しました。国の経済対策に呼応して、一部事業を平成25年度予算に前倒して計上したことから、これらをあわせた実質的な予算額は250億2100万円（同8.0%増）の積極型予算となりました。

本市の財政状況は、市税収入が増加傾向にあるものの、社会保障費をはじめとした義務的経費が増加するなど、依然として厳しい状況が続いています。

そうした中、行政改革実行計画に掲げる財政健全化の取り組みを進めるとともに、5つのチャレンジプラン総仕上げのため「地域の防災力強化など安全で災害に強いまちづくり」など8つの項目に、重点的に予算を配分しました。

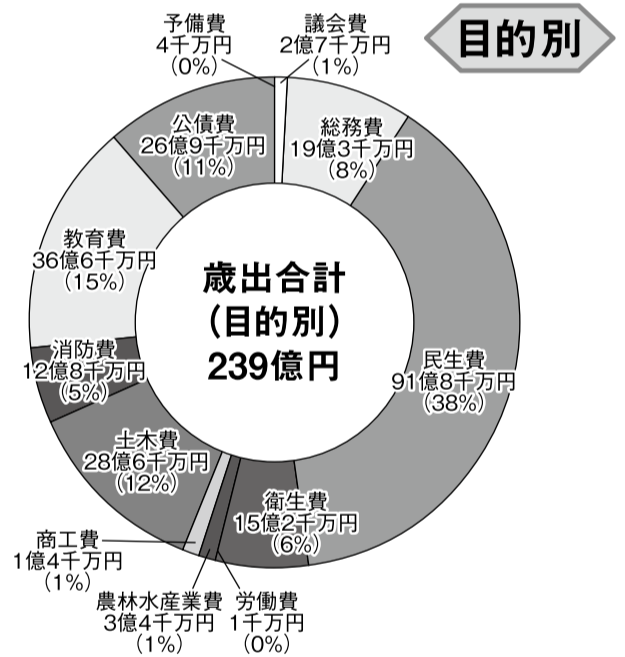
また、市民満足度のさらなる向上のため、昨年実施した「市民満足度調査」の結果を予算に反映しました。

歳入



歳入では、市税が最も多く99億4千万円（42%）、国庫支出金、市債と続きます。このうち市税は、宅地開発に伴う固定資産税の増等により、前年度と比較して約2億1千万円増加しています。

歳出



歳出を目的別に見ると、民生費91億8千万円（38%）が最も多く、続いて教育費36億6千万円（15%）、土木費の順となっています。このうち教育費は小学校空調設備設置事業などにより、前年度と比較して約5億4千万円増加しています。

5つのチャレンジプランとは・・・ 市政運営の重点施策と位置づけた5つの項目

- ①安全・安心な暮らしの創造
- ②つながりによる地域力の創造
- ③地域の輝きと活力の創造
- ④しあわせを実感できる社会の創造
- ⑤京田辺の未来をささえる人づくり

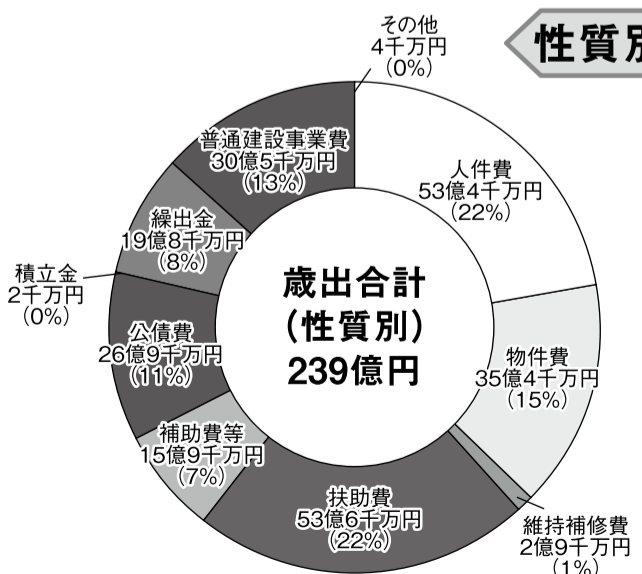


8つの重点項目とは・・・ チャレンジプランの総仕上げを推進する8つの項目

- ①地域の防災力強化など安全で災害に強いまちづくり
- ②子どもを安心して産み育てるための子育て支援の充実
- ③高齢者、障害のある人、介護する人を地域で支える仕組みづくり
- ④誰もが健康で幸せに暮らせる、人に優しいまちづくり
- ⑤元気な農業・農村づくりと本市の強みを生かした地域経済の活性化
- ⑥便利で快適な生活のための都市基盤整備と環境に配慮したまちづくり
- ⑦子どもたちの個性を伸ばす教育の推進と教育環境の充実
- ⑧同志社大学等との連携と市民の文化・スポーツ活動への支援



性質別



性質別に見ると、最も多いのは扶助費53億6千万円（22%）で、人件費、物件費、普通建設事業費などが続いています。障害者自立支援給付費などの扶助費は、前年度と比較して約2億円増加しています。

平成26年度 主な事業

子育て支援のさらなる充実のため 子どもの通院医療費助成を中学校修了まで拡大

1. 地域の防災力強化など安全で災害に強いまちづくり

○避難所機能強化事業

1512万円

市民や自主防災組織の皆さんと実践的な避難所運営訓練を実施するとともに、災害に応じて臨機応変に避難所を立ち上げる手順をまとめたマニュアルを策定します。

また、防災無線による災害情報をより確実に伝達するため、避難所となる各小中学校の体育館にアンテナを設置します。



避難所運営訓練の様子

○防災無線半固定器追加新設事業(福祉避難所) 432万円

福祉避難所協定に基づき、3カ所の福祉避難所(特別養護老人ホームの九十九園、セピアの園、つつきの郷)に地域防災無線を整備します。

○防災気象情報提供事業

216万円

警報や地震などの防災気象情報や京田辺市のエリア情報など、より精度の高い気象情報を市ホームページで提供します。

○化学消防ポンプ車購入事業

6947万円



多様化する災害や火災から市民の安全を守るため、最新の機能を備えた化学消防ポンプ車を購入します。

消火効率がよく少量の水で消すことができる圧縮空気泡消火装置を備えた化学消防ポンプ車に更新し、常備消防力の強化を図ります。

○耐震性防火水槽設置事業(設計費)

380万円

地震災害で水道管が寸断された場合でも消火活動が行えるよう、市内の公園2カ所に耐震性の防火水槽を設置します。

○消防団資機材の充実

113万円

地域防災の要となる消防団活動の強化と消防団員の安全確保のため、新たにライフジャケット等を配備します。

○市営住宅耐震化事業(H25前倒し)

7400万円

西羅団地の耐震補強工事と南山団地の耐震補強設計を実施し、震災から市民の生命と財産を守ります。

2. 子どもを安心して産み育てるための子育て支援の充実

○子ども・子育て支援事業計画策定事業

436万円

地域の子ども・子育てに関するニーズを把握し、今後の施策とサービスの提供体制と実施時期を盛り込んだ「子ども・子育て支援事業計画」を作成します。

○松井ヶ丘幼稚園就労サポート型預かり保育事業 383万円

保護者が働いていても子どもを幼稚園に通わせることができるよう、松井ヶ丘幼稚園での預かり保育の実施日数や時間を拡大します。

○子育て支援医療費助成事業(拡充分)

1909万円



子どもの通院医療費助成を、これまでの小学校修了までから、中学校修了までに拡大します。

これにより子どもの健康を守り、子育て世帯の負担を軽減します。

○三山木保育所建設事業(H25前倒し)

10億3730万円

三山木保育所の移転新築を行い入所定員を60人増やすとともに、新たに地域子育て支援センターを整備します。

また、ガスコージェネレーションシステムや太陽光発電システムを備えた環境に配慮した施設となります。



三山木保育所(完成予想)

○三山木留守家庭児童会整備事業

948万円

利用する児童の増加に対応するため、既存施設を新築移転し受け入れ体制の充実を図ります。

※みみづく保育園新園舎建設に伴う入所定員拡大

私立みみづく保育園の新園舎移転新築に伴う入所定員の拡大を支援します。(定員75人増)

3. 高齢者、障害のある人、介護する人を地域で支える仕組みづくり

○民生委員「緊急医療情報キット」配布助成事業

80万円



緊急医療情報キット(イメージ)

市内の独居高齢者に対して、地域の民生委員が定期的な見守り訪問事業を実施される際に、氏名や持病等の情報を記入するキットを配ることによって、万一の救急搬送時などに役立っています。

○子どもの発達支援事業

84万円

子どものコミュニケーション能力など発達面の課題を早期発見し適切な対応を行っていくため、新生児訪問時にチェックリストを配布するとともに、軽中度難聴児の補聴器購入等費用の助成を行います。

○老人福祉センター常磐苑改修事業

1680万円

高齢者の憩いの場、交流の場となっている「老人福祉センター常磐苑」の老朽化等に伴い、耐震性向上のための改修工事に向けた実施設計を行います。



○高齢者いきいきポイント事業

25万円

元気な高齢者の介護施設等でのボランティア活動を促進するため、ポイント制度を導入し活動意欲の向上につなげます。

※地域包括支援センター開設(宝生苑内)

老人福祉センター宝生苑内に、高齢者が地域で安心して住み続けられるための総合的な相談事業やケアマネジメントを担う地域包括支援センターを開設します。(市内3カ所目)

平成26年度 主な事業

自然の豊かさを身近に感じながら 「健幸」をキーワードにしたまちづくりを推進

4. 誰もが健康で幸せに暮らせる、人に優しいまちづくり

○健幸パスポート事業 **73万円**

健康づくりに関する情報を「健幸パスポート」として提供し、がん検診を受け、健康教室など健康づくり事業やイベントに参加したり、自分で「健幸目標」をたてて取り組み、ポイントをためた方に健康グッズ等を進呈し、市民の健康についての意識向上を図ります。

(※)「健幸」とは…人々の心と体が健康であることを表し、「健やか」と「幸せ」という言葉を組み合わせたもの。



楽歩塾の様子

○ウォーキングマップ作成事業 **ゼロ予算**

市民の運動のきっかけづくりとして、「ウォーキング教室 楽歩塾」の協力を得て市内のウォーキングマップを作成します。

○熱中症対策事業 **50万円**

高齢者の熱中症対策として、注意を呼びかけるお知らせとともに、快適湿度を知らせる「熱中症対策温湿度メーター」を配布します。

○自立促進総合支援窓口設置準備事業 **278万円**

生活に困窮している方を支援するため、相談窓口を一本化し総合的な支援体制の構築を進めます。

○社会福祉センター改修事業 **1億5508万円**

地域福祉活動の拠点である社会福祉センターについて、多目的トイレの設置等のバリアフリー化と太陽光発電システム等を含む大規模改修を実施することで、利用者の利便性の向上と、各種機能の充実強化を図ります。



○前立腺がん検診事業 **461万円**

近年増加している前立腺がんを早期に発見し早期治療するため、検診事業を実施します。

5. 元気な農業・農村づくりと本市の強みを生かした地域経済の活性化

○全国茶品評会「産地賞」奪還事業 **344万円**



京田辺産玉露

平成25年度全国茶品評会における玉露(個人部)での「農林水産大臣賞」受賞に続いて「産地賞」を奪還するために、入賞者報奨金を拡充し、栽培中の茶樹を京都府の奨励品種へ改植する経費の一部を補助します。

○田辺ナス産地50周年記念事業支援事業 **25万円**

50周年を迎える「田辺ナス」のブランド力向上のため、マーケティングやプロモーション等の実施を支援します。

○普賢寺地域活性化事業補助金 **300万円**

普賢寺地域において、耕作放棄地の解消、新たな特産物の創出やイベントの実施等について支援を行い、地域の活性化を図ります。

○産業振興ビジョン策定事業 **850万円**

市内産業の持続的な成長のため、中長期的視点による目指すべき産業の方向性・重点施策を明らかにする「産業振興ビジョン」を策定します。(平成26・27年度総額1500万円)

○中小企業売込み隊プロジェクト **337万円**

市内の中小企業のマーケティングと販路開拓支援のため、市商工会と連携し、国内・海外の商談会・展示会に合同で出展します。



上海での展示会の様子



6. 便利で快適な生活のための都市基盤整備と環境に配慮したまちづくり

○水辺の散策路環境整備事業 **2200万円**

市民が四季の移ろいを感じながら、散策や健康増進のためのウォーキングが楽しめるよう、手原川など市内の水辺のみちを散策路として整備します。



○バス交通活性化プロジェクト **300万円**

市民の身近な交通手段であるバス路線について、利用状況を検証し、市全体のバス路線網のあり方を含めて利便性の向上と利用促進について検討します。

○三山木地区土地区画整理事業 **5億3056万円**

関西文化学術研究都市の北の玄関口である三山木地区において、市南部の拠点にふさわしい機能と景観を備えた魅力あるまちづくりを推進しています。

○環境基本計画推進事業 **550万円**

本市の環境保全にかかる施策を体系化し、総合的・計画的に推進するため、京田辺市環境基本計画の見直しを行います。

○松井山手～大住地域遊歩道検討事業 **300万円**

新市街地と田園集落の交流促進と連携強化を図るため、松井山手地区と大住地区(北部住民センター付近)を結ぶ遊歩道の整備を検討します。



○橋梁長寿命化修繕事業 **8000万円**

橋梁の予防的修繕により、維持管理コストの低減と施設の長寿命化を図り将来の財政負担を縮減します。

○公園遊具等更新事業 **1930万円**

市民が安心して施設の利用ができるよう、公園施設長寿命化計画に基づき市内公園遊具等の更新を行います。

平成26年度 主な事業

子どもたちの良好な教育環境のため すべての小中学校に空調設備を設置

7. 子どもたちの個性を伸ばす教育の推進と教育環境の充実

○子ども・学校応援プロジェクト **500万円**



英語教育や読書推進など学校教育の課題解決に向けて、先駆的な取り組みを行う実践モデル校を指定し、児童生徒の多様な活動や特色ある学校づくりを促進するとともに、その成果を全小中学校に広げていきます。

○コミュニティ・スクール研究事業 **60万円**

地域との協働による魅力ある学校づくりを目指し、普賢寺小学校において学校運営協議会を設置するコミュニティスクール導入に向けた研究を行います。

○いじめ対策事業 **328万円**

教育委員会に臨床心理士を配置し、教職員等からの専門的な相談に応じるとともに、学校独自のいじめ対策事業を支援します。

○非構造部材耐震化点検事業 **500万円**

学校施設の非構造部材(照明器具・天井材・窓ガラス等)について、専門的な立場からの耐震点検を行います。

○三山木小学校西校舎棟新築等事業 **1億8410万円**

将来見込まれる児童数増加に対応するため、校舎の増築や既存校舎の大規模改修を含む学校全体の整備を行います。

平成26年度からの4年間で総額約28億円の大型事業となります。



○小学校空調設備設置事業 **10億3760万円**



良好な教育環境保持のため、小学校に空調設備を設置します。

これにより既に整備した中学校、新築事業で整備する三山木小学校を含め、すべての公立小中学校に、空調設備が設置されます。

8. 同志社大学等との連携と市民の文化・スポーツ活動への支援

○文化振興計画策定事業 **319万円**

文化の薫るまちづくりを推進するため、学識経験者や各種団体の代表者等からなる懇話会を設置し、ソフト・ハード両面にわたり文化振興の指針となる計画を策定します。



○文化施設利用助成拡充事業 **200万円**

京田辺市立以外の文化ホールを利用する場合に助成する、「文化施設利用助成」の利用可能回数を、年1回から2回に増やします。

○空き店舗活用地域活性化事業(同志社大学プロジェクト科目) **187万円**



同志社大学のプロジェクト科目(実践型・参加型の授業科目)を受講する学生が、毎週キララ商店街で学び、商店街活性化のための事業やイベントを行う取り組みを支援します。

○総合型地域スポーツクラブ育成助成事業 **60万円**

市民と学生と一緒にスポーツを行う「京たなべ・同志社スポーツクラブ」を育成し、市民がスポーツに親しむ機会を充実します。

その他

○本会議場等映像音響設備改修事業 **3240万円**



本会議の映像・音声をデジタル化するとともに、本会議のインターネット中継、録画配信等により議会の情報発信機能の充実を図ります。

○公営企業法適用化事業(公共下水道事業特別会計) **780万円**

公共下水道事業の経理内容を明確化し、より安定した下水道事業経営を実現するため、地方公営企業法適用に向けた準備を進めます。

○子育て世帯臨時特例給付金給付事業 **1億100万円**

平成26年4月からの消費税率の引き上げに伴い、子育て世帯への影響緩和と、消費の下支えを図るため、国の経済対策事業として臨時的な給付金を支給します。

○臨時福祉給付金給付事業 **2億2700万円**

平成26年4月からの消費税率の引き上げに伴い、所得の低い方々への影響を緩和するため、国の経済対策事業として臨時福祉給付金を支給します。

「市民満足度調査」の結果を予算に反映しました

市民の声をよく聞き、市民とともによく考え、市民とともに実行していくため、昨年度実施した「市民満足度調査」に寄せられた市民の声を予算に反映しました。

住み続けたい理由の第1位は?

「自然環境が良い」こと

自然の豊かさを身近に感じられる施策を
・松井山手～大住地域遊歩道検討事業
・水辺の散策路環境整備事業 など

いま重要と考えることは?

「健康で安心して暮らせる」こと

「健幸」をキーワードにした施策を
・健幸パスポート事業
・ウォーキングマップ作成事業 など

さらに充実させるべきことは?

「誰もが安全安心に移動できる」こと 「地域経済が元気で、成長する」こと

交通便利性を向上させる施策を
・バス交通活性化プロジェクト
地域経済活性化のための施策を
・中小企業売込み隊プロジェクト
・空き店舗活用地域活性化事業 など